

【目次】

- 新学期の教育相談
- 年度初めに見直し、確認を
- 【特集】人間関係づくりプログラムのすすめ③
- 【特集】児童生徒を自転車事故から守る③

- 
- 新学期の教育相談

●子どもの緊張をほぐしましょう

新学期は、環境や担任など周りの人が大きく変わり、児童生徒にはストレスがかかります。子どもたちの緊張を和らげ一人ひとりが安心して過ごせる学級づくりには

- ①積極的な声かけを行い、言動や表情を観察する。
- ②学級内の交友関係を的確に把握する。
- ③「認められている」「受け入れられている」「必要とされている」と感じられる学級の雰囲気を作る。
- ④自分の学級が居心地の良い学級なのかどうかを振り返る。 ことが必要です。

●教育相談体制の充実

全校にスクールカウンセラー (SC) を配置しました。校内での SC の活用をお願いします。各学校の教育相談コーディネーターは SC の相談調整や校内の連絡調整、ケース会議など組織で支援にあたる際の中心的な役割です。SC など専門スタッフも含め、チーム学校として組織的な取組をお願いします。

- 
- 年度初めに見直し、確認を

●危機管理マニュアル確認の徹底を！

4月は環境の大きな変化により、児童生徒は思いがけない事故やトラブルに巻き込まれやすくなります。各学校の危機管理マニュアルを見直すとともに、各自が取るべき具体的内容や手順を確認しましょう。

特に、10連休となるゴールデンウィーク中の事故等に適切に対応できるよう、休業日における緊急時の連絡網や対応等の周知徹底をお願いします。

●注意！ 今が自転車事故の多発時期！

慣れない通学路を通う児童生徒にとって、今の時期は事故の危険性が高まります。交通ルールを守るとともに、十分な注意を促すことが必要です。特に、4月～5月は自転車事故が多発し、その多くが交差点での事故です。交差点における安全確認の徹底をご指導ください。

- 
- 【特集】人間関係づくりプログラムのすすめ③

●構成的グループエンカウンターの実践

新学期当初の人間関係を構築するには、自分自身を見つめ直すことができる構成的グループエンカウンター等により、自己開示や担任、友だちのことを知ったりする機会を計画的に持つことが大変有効です。まず知り合うきっかけをつくる構成的グループエンカウンターとしては、「アドジャントーク」や「二者択一」「ジョハリの窓」等があります。短時間でも継続的に実施することで、居心地の良い学級になることが期待できます。

- 
- 【特集】児童生徒を自転車事故から守る③

●急げ、ヘルメット！ モニターの応募締切り迫る！

前回のメルマガでお伝えしましたが、生徒の自転車事故による頭部損傷を防ぎ、命を守る取組として、今年度、「県立学校自転車通学生ヘルメット着用推進事業」がスタートしました。4月23日(火)がモニター応募の第一次締切りです。生徒・保護者への周知と応募の促進にご協力ください。

- 
- ◎メルマガに対するご意見や取り上げてほしいテーマは以下から投稿してください。

<https://www.egov-oita.pref.oita.jp/8oNP6Dkf>

- ◎過去のバックナンバーは以下のURLから御覧いただけます。

<http://www.pref.oita.jp/site/gakkokyoiku/mailmaga.html>

---

配信元：大分県教育庁学校安全・安心支援課 (URL : <http://www.pref.oita.jp/soshiki/31450/>)